

取付説明書 ーデッキ編(ウエスタン・レッドシダー)ー

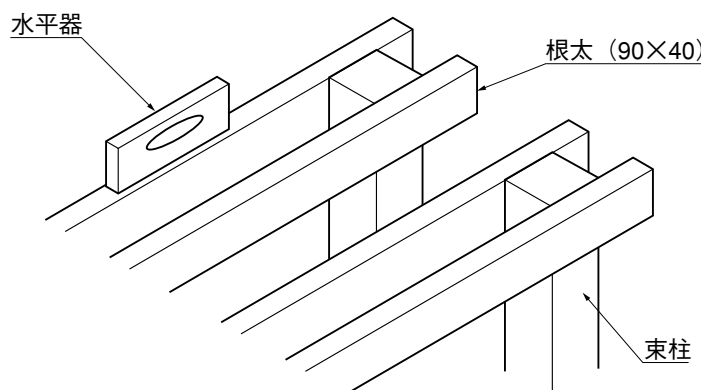
- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- まずはじめに、〈E028〉「エクシオール自然浴家族ー総合編ー」の取付説明書をご覧ください、その指示にしたがって施工してください。

1 自然浴家族 施工時の重要注意項目

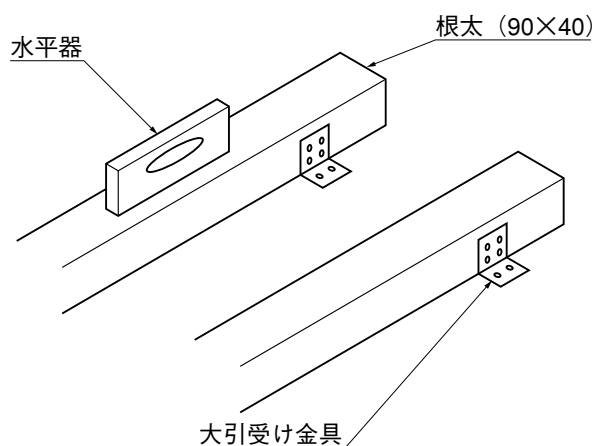
施工の前にご確認ください

注 1 根太・大引の水平が出ているかご確認ください

■束柱仕様



■大引仕様



- ① ウッドデッキ仕様では根太もしくは大引の水平が出ているかご確認ください。

<注意>

- 水平が出ていないとパネルの開閉に支障をきたす場合があります。

注 2 床板固定用工具

- ① 床板の固定には、電動工具（インパクトドライバー推薦）をご使用ください。

<注意>

- 手回し、もしくはトルクが小さい電動工具の場合、ネジが入らない場合があります。

エクシオール 自然浴家族 デッキ編（ウエスタン・レッドシダー） INDEX

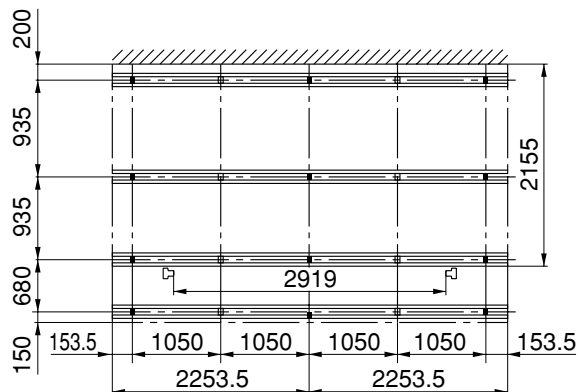
1	施工前の重要確認項	1
2	基本寸法図	3
2 - 1	1.5間 7尺（ウエスタン・レッドシダー）	3
2 - 2	2.0間 7尺（ウエスタン・レッドシダー）	4
2 - 3	2.5間 7尺（ウエスタン・レッドシダー）	5
2 - 4	3.0間 7尺（ウエスタン・レッドシダー）	6
2 - 5	1.5間 9尺（ウエスタン・レッドシダー）	7
2 - 6	2.0間 9尺（ウエスタン・レッドシダー）	8
2 - 7	2.5間 9尺（ウエスタン・レッドシダー）	9
2 - 8	3.0間 9尺（ウエスタン・レッドシダー）	10
3	ウッドデッキ仕様（ウエスタン・レッドシダー）の床施工方法	11
3 - 1	水盛遣方・水系張り	11
3 - 2	基礎石配置	11
3 - 3	基礎施工／束柱仕様	12
	大引仕様	13
3 - 4	床板の張り方	16
3 - 5	内面デッキの張り方	17
3 - 6	ウッドデッキの塗装方法	19

2 自然浴家族 基本寸法図

2-1 1.5間 7尺 (ウエスタン・レッドシダー)

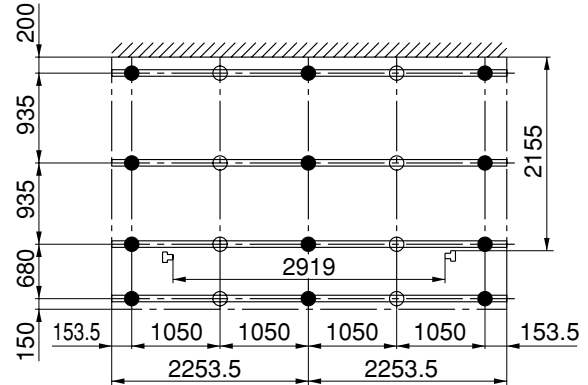
① デッキ仕様基礎図

束柱仕様



注1) ■ 部および □ 部は大引固定位置を示します。
注2) ■ 部は束柱受け金具を使用して下さい。

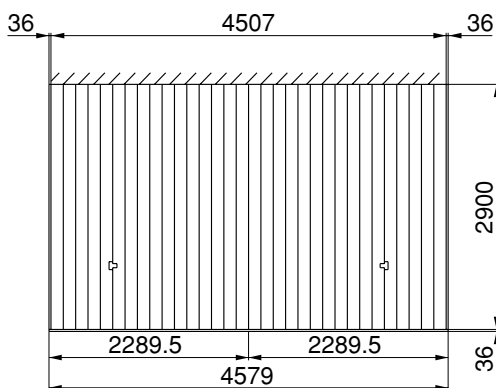
大引仕様



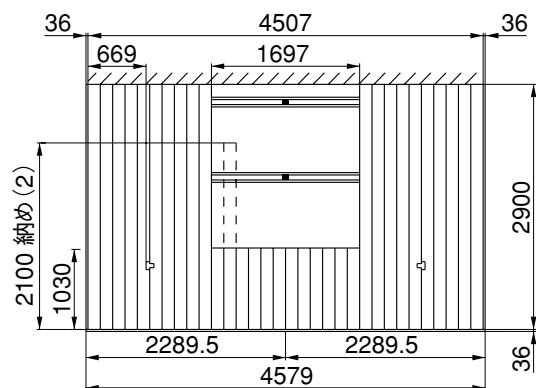
注1) ● 部は束柱位置を示します。
注2) ● 部および ○ 部は束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに ● 部では振れ止め付を使用して下さい。

② デッキ割付図

フラットデッキ仕様



内面デッキ仕様



デッキ幅W=136 目地d=5・・・32列

仕様		デッキ材		内面デッキ	エクシオール面デッキ根太		
		(3) L=2100	(5) L=2900	(2) L=2200	(1) L=2100	(3) L=2100	(4) L=2100
フラットデッキ	根太仕様	—	36枚	—	—	—	—
	大引仕様	—	—	—	—	—	—
内面デッキ	根太仕様	6枚	24枚	22枚	6本	6本	—
	大引仕様	—	—	—	6本	—	2本
内面デッキ 納め (2)	根太仕様	7枚	24枚	22枚	6本	6本	—
	大引仕様	—	—	—	6本	—	2本

注1) 二段張りデッキ仕様のL=1030、12枚は、L=2100、6枚より切断加工してください。

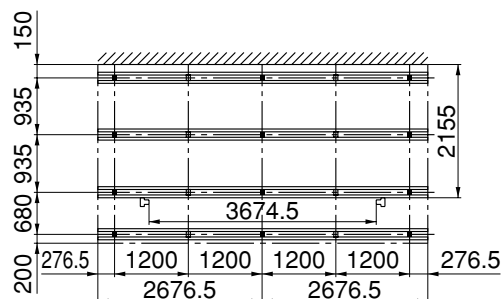
注2) 納め (2) 仕様の場合、破線部にL=2100、2枚を張ってください。

注3) 本図は左収納を示し、右収納は本図と対象です。

2-2 2.0間 7尺 (ウエスタン・レッドシダー)

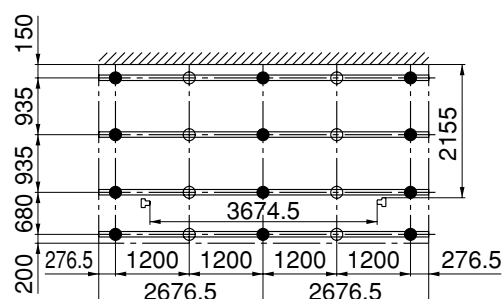
1 デッキ仕様基礎図

束柱仕様



注1) ■ 部及び □ 部は大引固定位置を示します。
注2) ■ 部は束柱受け金具を使用して下さい。

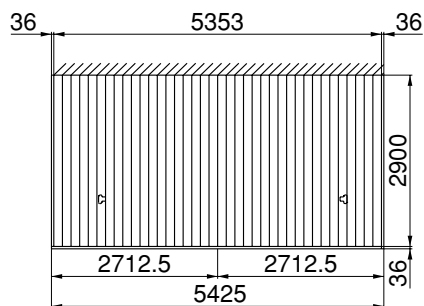
大引仕様



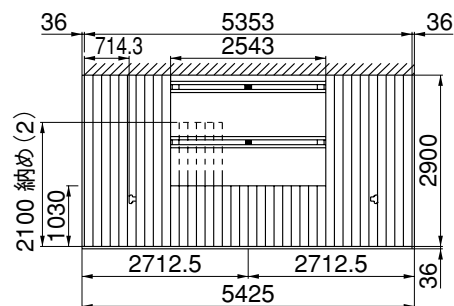
注1) ● 部は束柱位置を示します。
注2) ● 部および ○ 部は束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに ● 部では振れ止め付を使用してください。

2 デッキ割付図

フラットデッキ仕様



内面デッキ仕様



デッキ幅W=136 目地d=5・・・38列

仕様		デッキ材		内面デッキ	エクシオール面デッキ根太		
		(3) L=2100	(5) L=2900	(2) L=2200	(1) L=1991	(3) L=2700	(4) L=2700
フラットデッキ	根太仕様	—	42枚	—	—	—	—
	大引仕様	—	—	—	—	—	—
内面デッキ	根太仕様	9枚	24枚	29枚	6本	6本	—
	大引仕様	—	—	—	6本	—	2本
内面デッキ 納め (2)	根太仕様	12枚	24枚	29枚	6本	6本	—
	大引仕様	—	—	—	6本	—	2本

注1) 二段張りデッキ仕様のL=1030、18枚は、L=2100、9枚より切断加工してください。

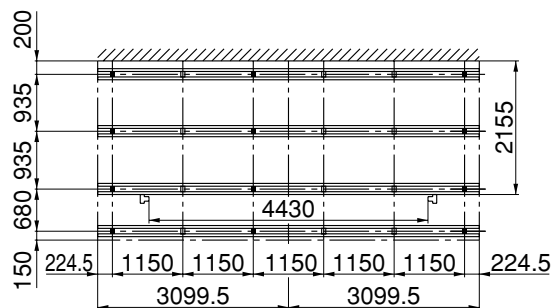
注2) 納め (2) 仕様の場合、破線部にL=2100、6枚を張ってください。

注3) 本図は左収納を示し、右収納は本図と対象です。

2-3 2.5間 7尺 (ウエスタン・レッドシダー)

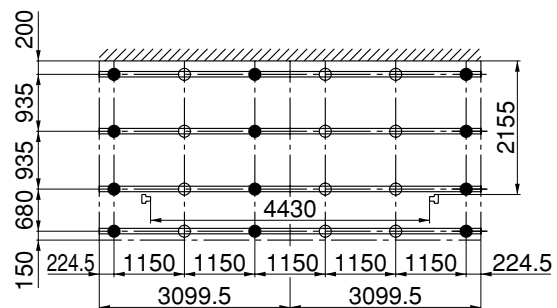
1 デッキ仕様基礎図

束柱仕様



注1) ■ 部および □ 部は大引固定位置を示します。
注2) ■ 部は束柱受け金具を使用して下さい。

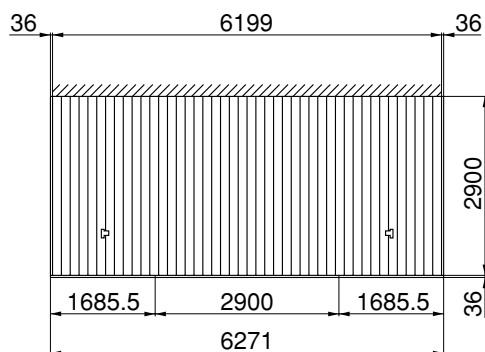
大引仕様



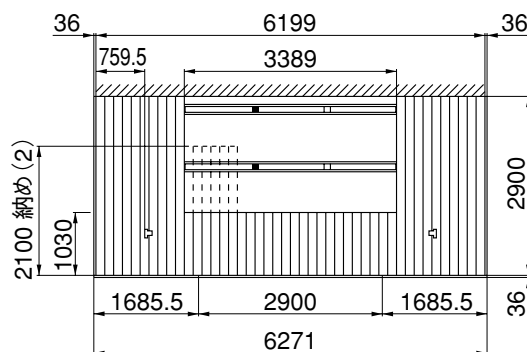
注1) ● 部は束柱位置を示します。
注2) ● 部および ○ 部は束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに ● 部では振れ止め付を使用してください。

2 デッキ割付図

フラットデッキ仕様



内面デッキ仕様



デッキ幅W=136 目地d=5・・・44列

仕様		デッキ材		内面デッキ	エクシオール面デッキ根太		
		(3) L=2100	(5) L=2900	(2) L=2200	(1) L=1991	(3) L=2700	(4) L=2700
フラットデッキ	根太仕様	—	49枚	—	—	—	—
	大引仕様	—	—	—	—	—	—
内面デッキ	根太仕様	12枚	25枚	35枚	9本	6本	—
	大引仕様	—	—	—	9本	—	3本
内面デッキ 納め (2)	根太仕様	15枚	25枚	35枚	9本	6本	—
	大引仕様	—	—	—	9本	—	3本

注1) 二段張りデッキ仕様のL=1030、24枚は、L=2100、12枚より切断加工してください。

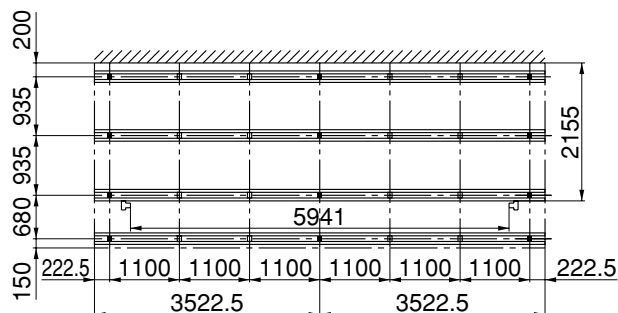
注2) 納め (2) 仕様の場合、破線部にL=2100、6枚を張ってください。

注3) 本図は左収納を示し、右収納は本図と対象です。

2-4 3.0間 7尺 (ウエスタン・レッドシダー)

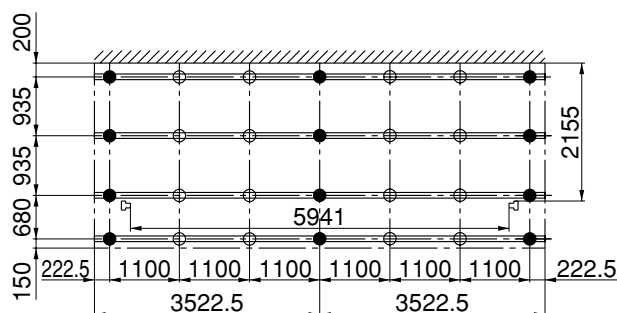
1 デッキ仕様基礎図

束柱仕様



注1) ■ 部及び □ 部は大引固定位置を示します。
注2) ■ 部は束柱受け金具を使用して下さい。

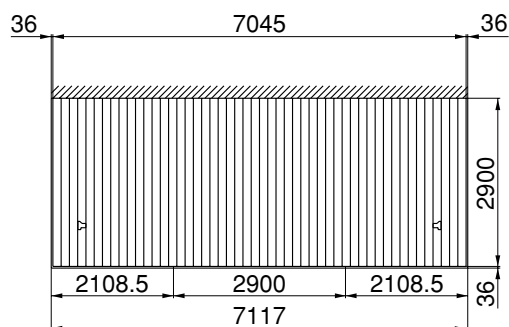
大引仕様



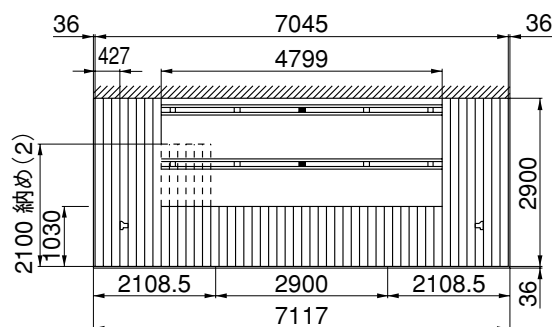
注1) ● 部は束柱位置を示します。
注2) ● 部および ○ 部は束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに ● 部では振れ止め付を使用してください。

2 デッキ割付図

フラットデッキ仕様



内面デッキ仕様



デッキ幅W=136 目地d=5・・・50列

仕様		デッキ材		内面デッキ	エクシオール面デッキ根太		
		(3) L=2100	(5) L=2900	(2) L=2200	(1) L=1991	(3) L=2700	(4) L=2700
フラットデッキ	根太仕様	—	55枚	—	—	—	—
	大引仕様	—	—	—	—	—	—
内面デッキ	根太仕様	17枚	21枚	47枚	9本	9本	—
	大引仕様	—	—	—	9本	—	4本
内面デッキ 納め (2)	根太仕様	20枚	21枚	47枚	9本	9本	—
	大引仕様	—	—	—	9本	—	4本

注1) 二段張りデッキ仕様のL=1030、34枚は、L=2100、17枚より切断加工してください。

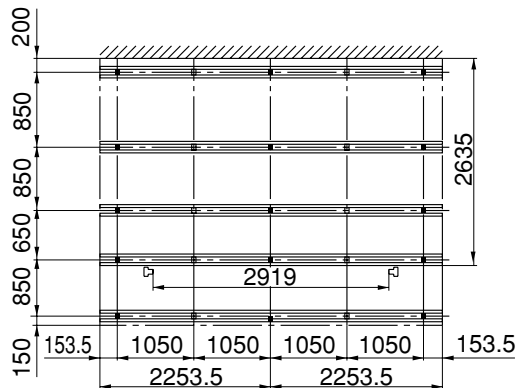
注2) 納め (2) 仕様の場合、破線部にL=2100、6枚を張ってください。

注3) 本図は左収納を示し、右収納は本図と対象です。

2-5 1.5間 9尺 (ウエスタン・レッドシダー)

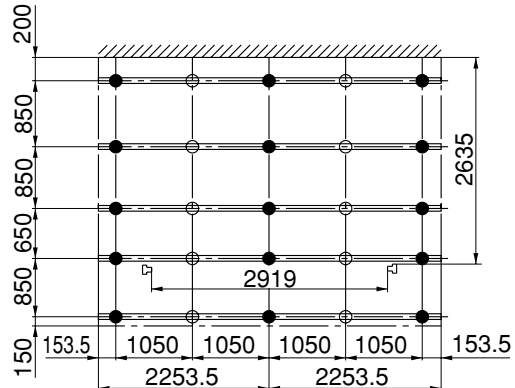
1 デッキ仕様基礎図

束柱仕様



注1) ■ 部および □ 部は大引固定位置を示します。
注2) ■ 部は束柱受け金具を使用して下さい。

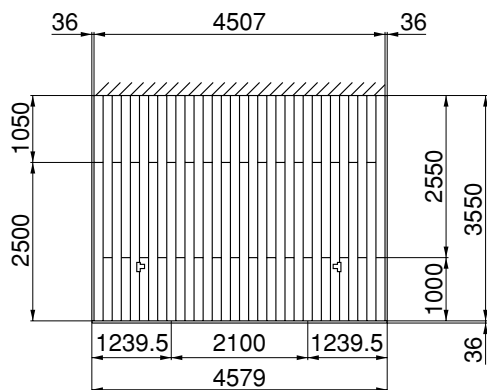
大引仕様



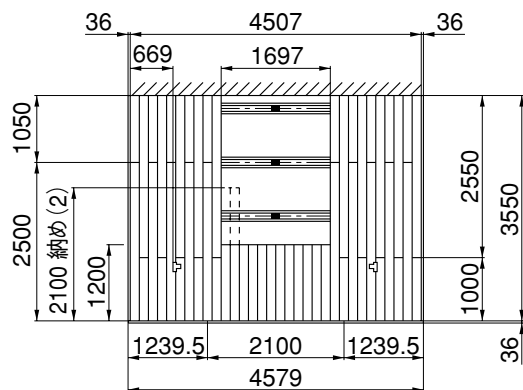
注1) ● 部は束柱位置を示します。
注2) ● 部および ○ 部は束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに ● 部では振れ止め付を使用してください。

2 デッキ割付図

フラットデッキ仕様



内面デッキ仕様



デッキ幅W=136 目地d=5・・・32列

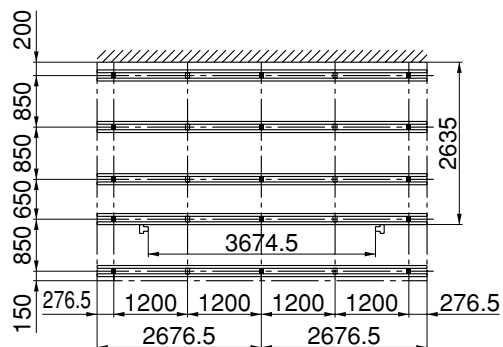
仕様		デッキ材		内面デッキ	エクシオール面デッキ根太		
		(3) L=2100	(4) L=2700	(3) L=2667	(1) L=1991	(3) L=2700	(4) L=2700
フラットデッキ	根太仕様	18枚	35枚	—	—	—	—
	大引仕様	—	—	—	—	—	—
内面デッキ	根太仕様	12枚	29枚	22枚	6本	6本	—
	大引仕様	—	—	—	6本	—	3本
内面デッキ 納め (2)	根太仕様	14枚	29枚	22枚	6本	6本	—
	大引仕様	—	—	—	6本	—	3本

注1) 一段張りデッキ仕様のL=1050、1000各16枚は、L=2100、16枚より相取り切断加工してください。
注2) 二段張りデッキ仕様のL=1050、1000各10枚は、L=2100、10枚より相取り切断加工してください。
注3) 二段張りデッキ仕様のL=1200、12枚は、L=2700、6枚より切断加工してください。
注4) 納め (2) 仕様の場合、破線部にL=2100、2枚を張ってください。
注5) 本図は左収納を示し、右収納は本図と対象です。

2-6 2.0間 9尺 (ウエスタン・レッドシダー)

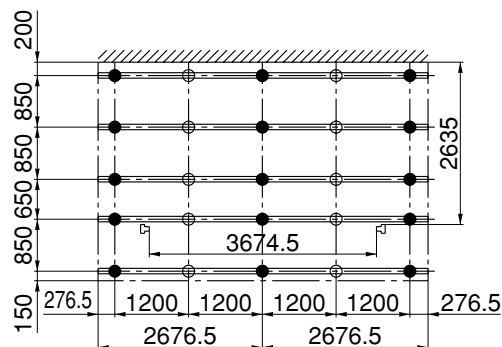
1 デッキ仕様基礎図

束柱仕様



注1) ■ 部及び □ 部は大引固定位置を示します。
注2) ■ 部は束柱受け金具を使用して下さい。

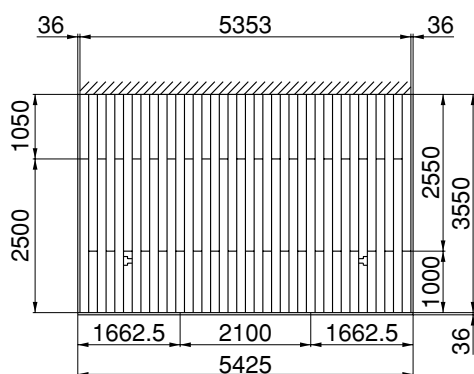
大引仕様



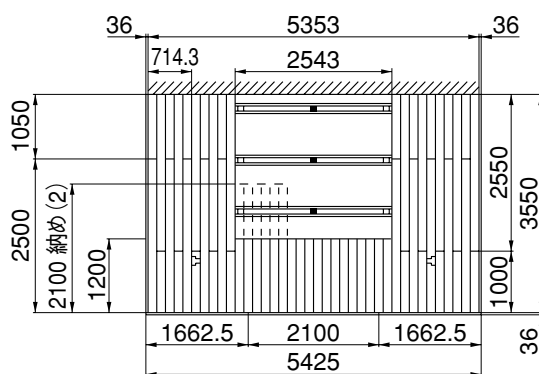
注1) ● 部は束柱位置を示します。
注2) ● 部および ○ 部は束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに ● 部では振れ止め付を使用してください。

2 デッキ割付図

フラットデッキ仕様



内面デッキ仕様



デッキ幅W=136 目地d=5・・・38列

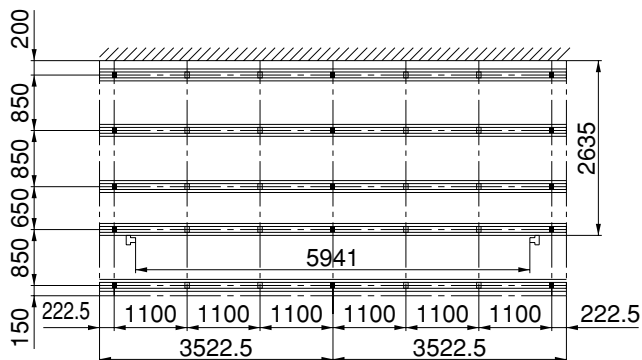
仕様		デッキ材		内面デッキ	エクシオール面デッキ根太		
		(3) L=2100	(4) L=2700	(3) L=2667	(1) L=1991	(3) L=2700	(4) L=2700
フラットデッキ	根太仕様	23枚	40枚	—	—	—	—
	大引仕様				—	—	—
内面デッキ	根太仕様	14枚	31枚	29枚	9本	6本	—
	大引仕様				9本	—	3本
内面デッキ 納め (2)	根太仕様	20枚	28枚	29枚	9本	6本	—
	大引仕様				9本	—	3本

注1) 一段張りデッキ仕様のL=1050、1000各19枚は、L=2100、19枚より相取り切断加工してください。
注2) 二段張りデッキ仕様のL=1050、1000各10枚は、L=2100、10枚より相取り切断加工してください。
注3) 二段張りデッキ仕様のL=1200、18枚は、L=2700、9枚より切断加工してください。
注4) 納め (2) 仕様の場合、破線部にL=2100、6枚を張ってください。
注5) 本図は左収納を示し、右収納は本図と対象です。

2-8 3.0間 9尺 (ウエスタン・レッドシダー)

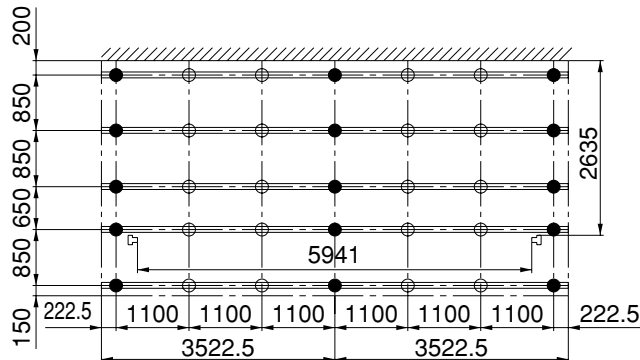
1 デッキ仕様基礎図

束柱仕様



注1) ■ 部及び □ 部は大引固定位置を示します。
注2) ■ 部は束柱受け金具を使用して下さい。

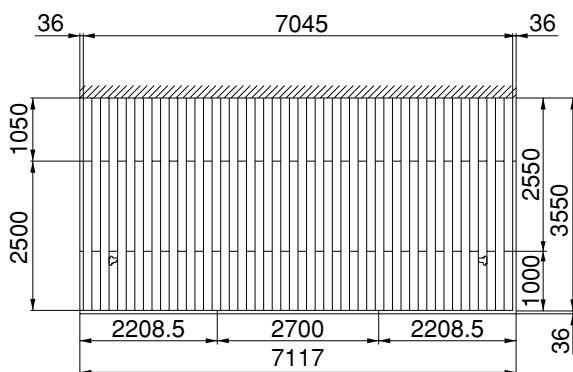
大引仕様



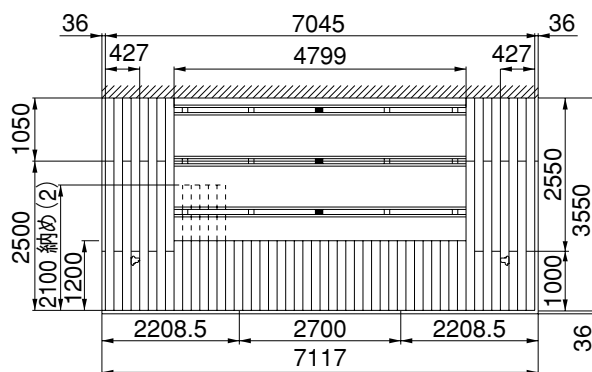
注1) ● 部は束柱位置を示します。
注2) ● 部および ○ 部は束調整金具仕様の場合、
金具を使用する位置を示し、さらに ● 部では
振れ止め付を使用してください。

2 デッキ割付図

フラットデッキ仕様



内面デッキ仕様



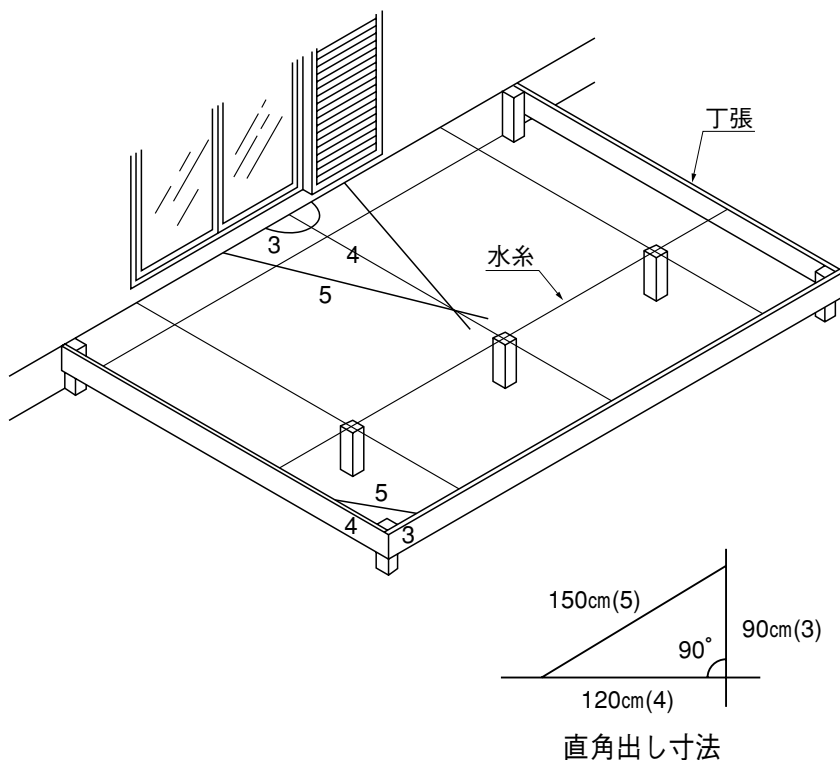
デッキ幅W=136 目地d=5・・・50列

仕様		デッキ材		内面デッキ	エクシオール面デッキ根太		
		(3) L=2100	(4) L=2700	(3) L=2667	(1) L=1991	(3) L=2700	(4) L=2700
フラットデッキ	根太仕様	26枚	55枚	—	—	—	—
	大引仕様				—	—	—
内面デッキ	根太仕様	9枚	38枚	47枚	9本	9本	—
	大引仕様				9本	—	4本
内面デッキ 納め (2)	根太仕様	15枚	35枚	47枚	9本	9本	—
	大引仕様				9本	—	4本

注1) 一段張りデッキ仕様のL=1050、1000各25枚は、L=2100、25枚より相取り切断加工してください。
注2) 二段張りデッキ仕様のL=1050、1000各9枚は、L=2100、9枚より相取り切断加工してください。
注3) 二段張りデッキ仕様のL=1200、18枚は、L=2700、9枚より切断加工してください。
注4) 納め (2) 仕様の場合、破線部にL=2100、6枚を張ってください。
注5) 本図は左収納を示し、右収納は本図と対象です。

3 自然浴家族 ウッドデッキ仕様(ウエスタン・レッドシダー)の床施工方法

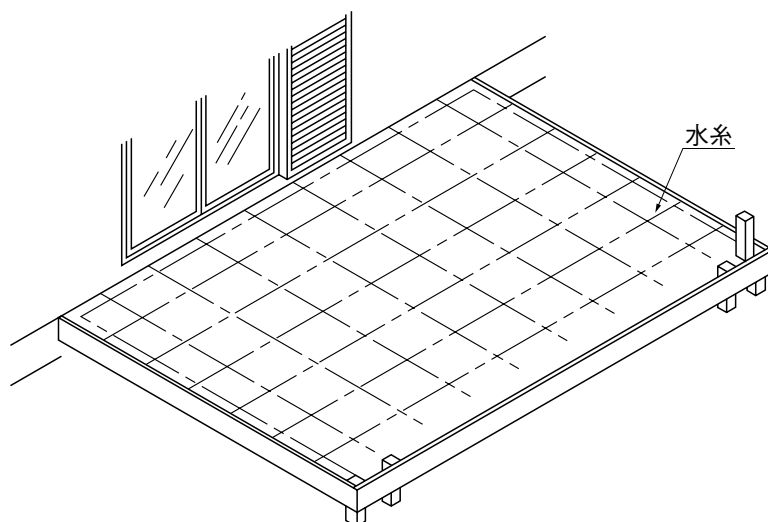
3-1 水盛遣方・水糸張り



- ① 〈E028〉「自然浴家族」を参照してエクシオール本体の取付位置およびエクシオール面床レベルを決めてください。
- ② 前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③ 躯体に柱寸法の印を付け、3,4,5方法で直角を出し、本体の中心の位置出しをしてください。
- ④ 本体の中心の位置から、両側の端柱位置を決めてください。

1. 丁張の位置はデッキ面より正面・両側面ともやや大きめに決めてください。
2. 丁張は水平器等で水平を取ってください。
3. 各コーナーの直角を定規・3,4,5方法等で割り出してください。

3-2 基礎石配置



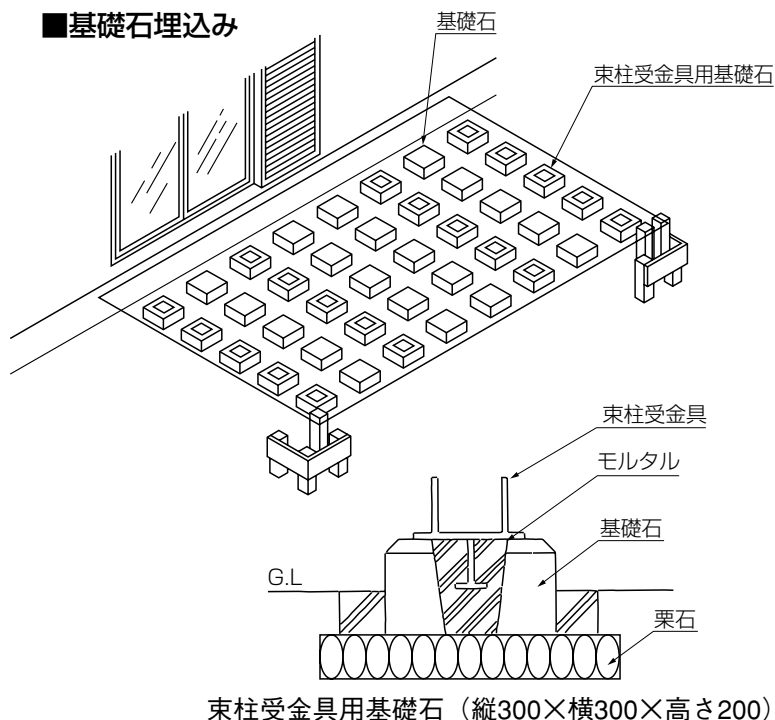
- ① 前面・両側面の水糸に寸法出しをし、各基礎仕様により基礎伏図を参照して、基礎石の位置を決定してください。

間口3.0間の場合や本体の取付位置によっては、柱と基礎石が干渉する場合があります。本体施工前にその事を確認の上、必要に応じて基礎を移動してください。

3-3 基礎施工

1 束柱仕様

■基礎石埋込み



- ① 各基礎石の位置を約40cm角、深さ20cmに掘り、栗石を敷き、基礎石を据えてください。

<注意>

- この作業が十分でないと、基礎の沈みが生じる可能性があります。
- ② 基礎石のレベルを出してください。
 - ③ 束柱受金具用基礎石にモルタルで、束柱受金具を埋込みしてください。
 - ④ 基礎石のまわりをコンクリートで固めてください。

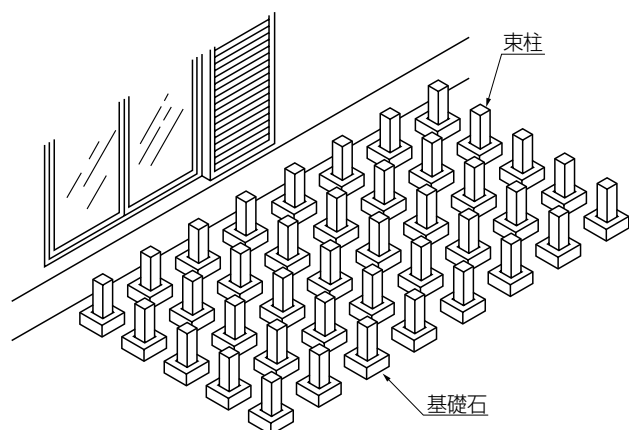
<注意>

- コンクリートで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが生じる可能性があります。

基礎石の種類

1. 束柱受け金具用基礎石寸法は
縦300×横300×高さ200mm
2. 束柱を置くだけの基礎石寸法は
縦200×横200×高さ200mm

■束柱の建て込み

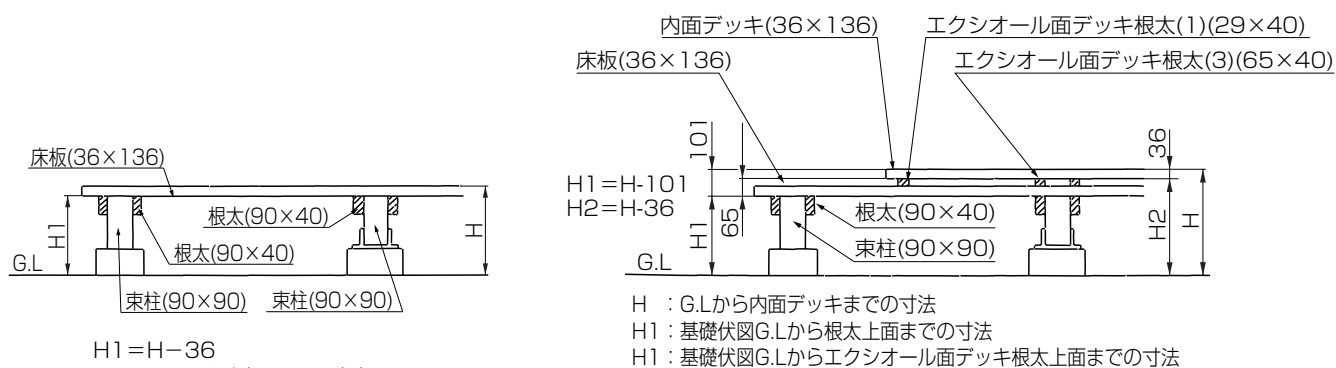


- ① 下図を参考にして束柱の高さ寸法をH1、H2を出してください。

- ② 両端部に束柱を建てオートレベル器もしくは水盛器でレベルを出し、水糸を張って残りの束柱を建ててください。

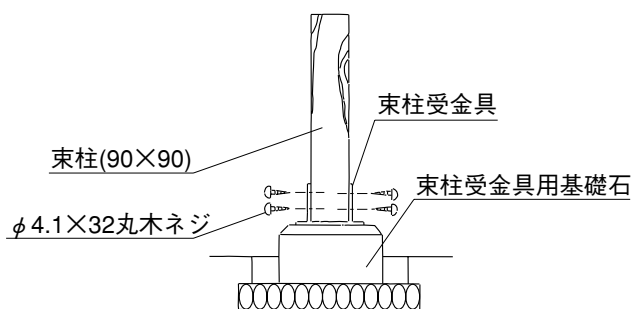
<注意>

- このとき、束柱の上面が設定レベルH1、H2より上に出ないように注意してください。



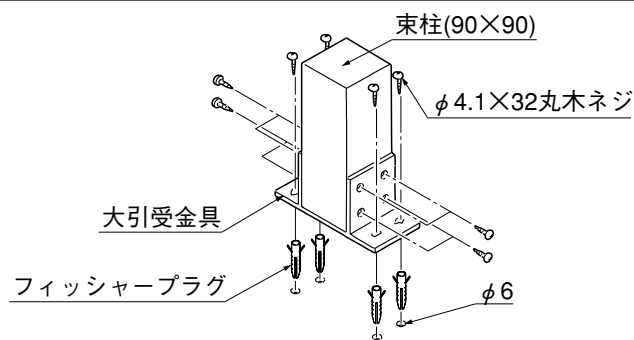
フラットデッキ仕様

内面デッキ仕様



埋込み式（束柱受金具使用）

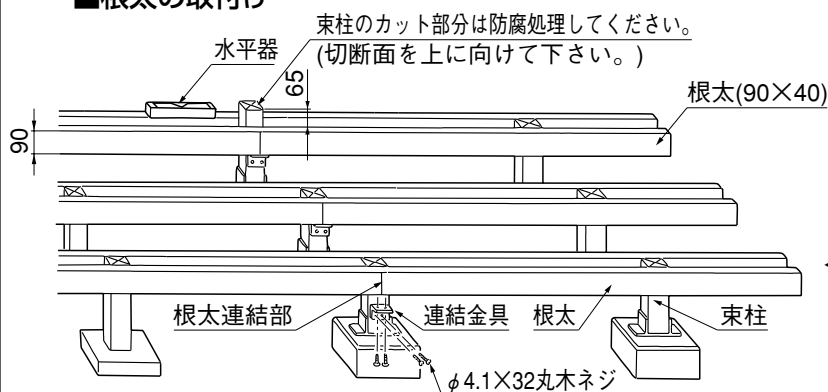
- ① 束柱受金具を埋込んだ基礎石に束柱を建て、ネジで固定してください。



床直付式（基礎石を使わない場合）（大引受金具使用）

- ① 床面がコンクリートもしくはタイル貼りしてある場合、床にフィッシャープラグを埋込み、束柱と床面を金具で固定してください。

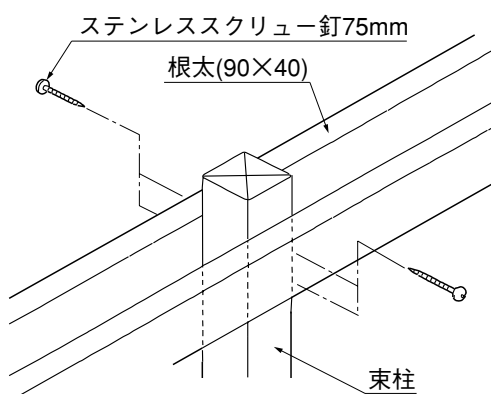
■根太の取付け



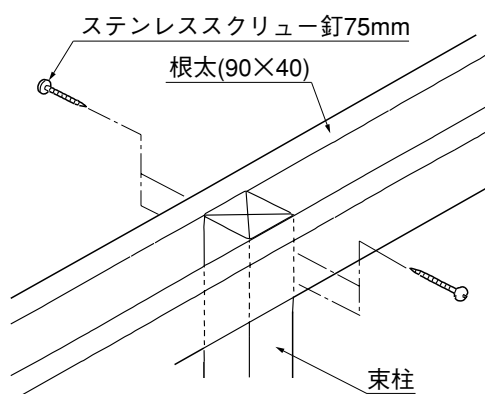
- ① P3～10を参考にしてレベルに合わせて根太を束柱に釘止めしてください。根太の連結は束柱のセンターで行ない、連結金具で固定してください。
(束柱との固定はステンレススクリュー釘で打ちつけてください。)

<注意>

- 内面デッキ仕様の内面デッキ張付範囲は（P3～P10参照）は束柱を根太より65mm出した所で切断してください。
- ② 束柱に連結金具を止め、根太と固定してください。



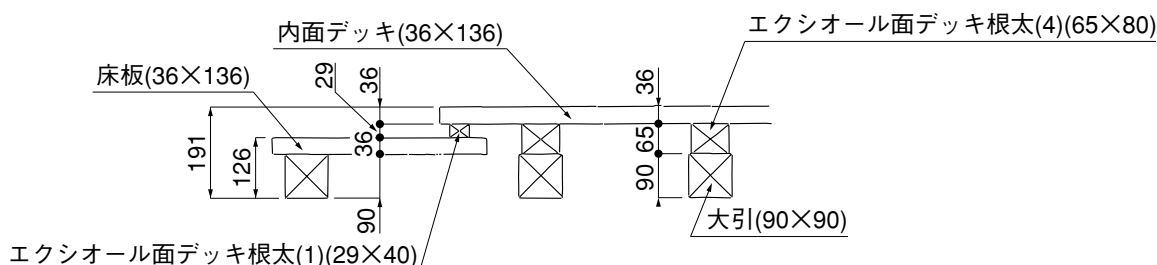
内面デッキ仕様の内面デッキ貼付け範囲の場合



フラットデッキ仕様およびの内面デッキ貼付け範囲以外の場合

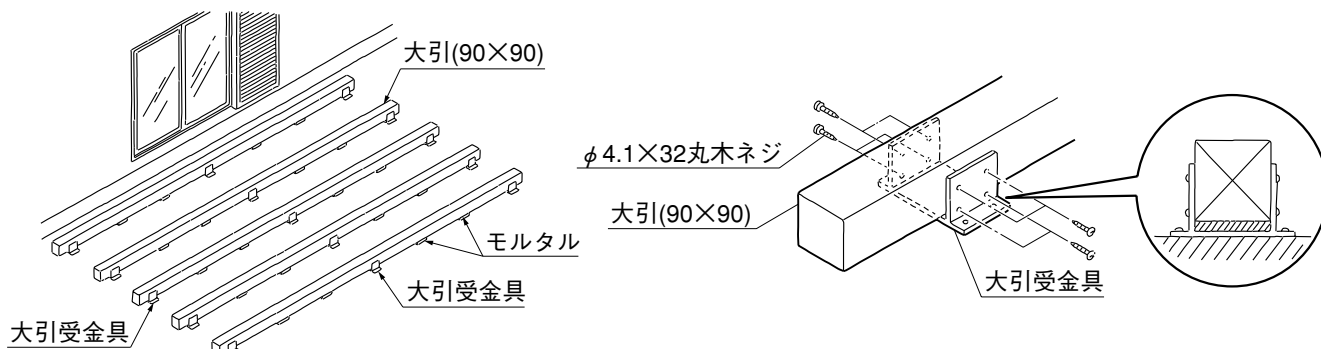
② 大引仕様

- 大引の固定方法は次項の3タイプの方法がありますので、現場の状況により施工し易い方法で行なってください。
- G.Lより内面デッキの高さの出し方は下図を参照してください。



3-3 つづき

■大引受金具使用の場合

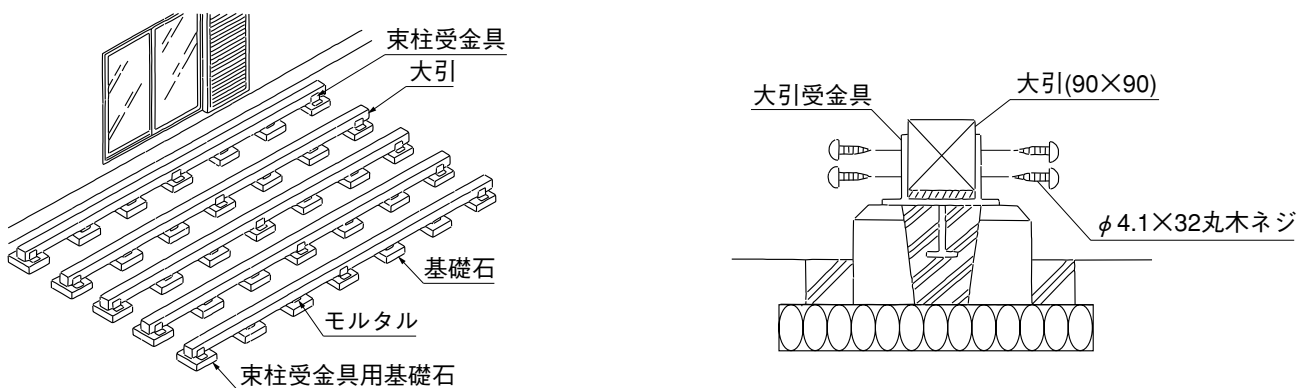


- ① P3～10を参照して芯出しをした土間コンクリートに大引受金具をアンカーボルトまたは、フィッシャープラグ等を埋込ボルトで固定してください。
- ② 大引を大引受金具にのせて横からφ4.1×32丸木ネジ8本で固定してください。

<注 意>

- 大引と大引受金具の間にスキ間が生じた場合モルタル等で補引してください。
- 大引受金具は束柱仕様の束柱受金具のある所に入れてください。

■束柱受金具使用の場合

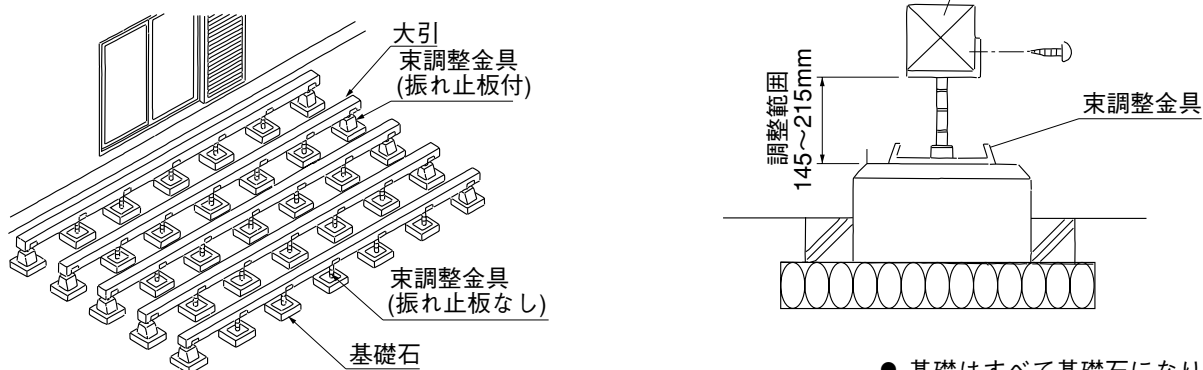


- ① P3～10を参照して各々の基礎石のレベルと通り芯を合わせて束柱受金具をモルタルで固定してください。
- ② 大引のレベルを出し、束柱受金具にのせて横からφ4.1×32丸木ネジ8本で固定してください。

<注 意>

- 基礎石の種類および配置は束柱仕様に準じてください。

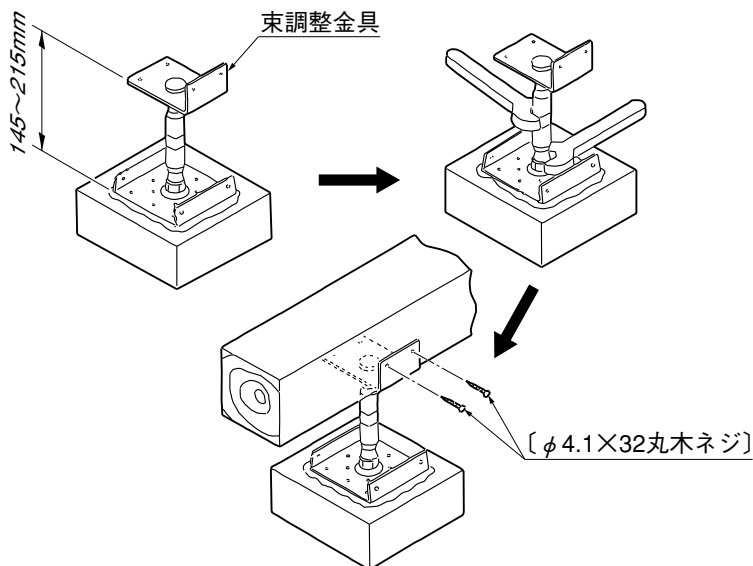
■束調整金具使用の場合



- 基礎はすべて基礎石になります。

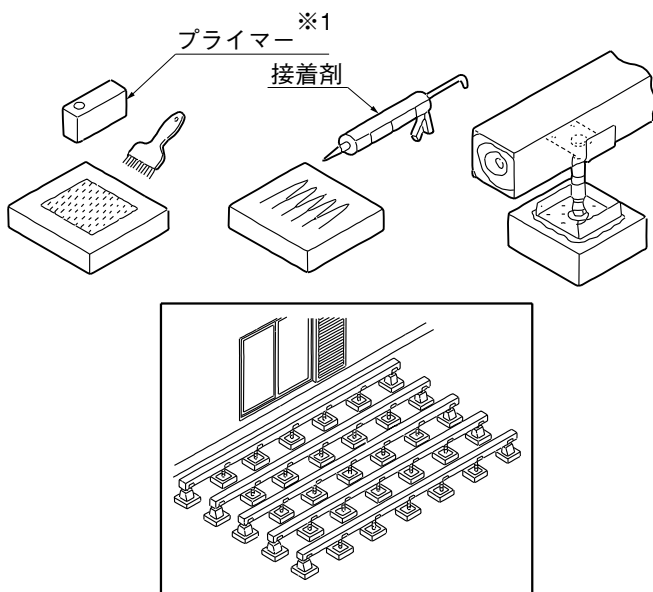
■根太の取付け

金具下面より大引の下部まで、145mm～215mmまで調整可能。(下図参照)



- ① 芯出し (P3～10参照) をした土間コンクリートあるいは基礎石に、束調整金具をアンカーまたは、接着剤にて固定してください。
- ② 束調整金具の各々のレベル調整を行ない、上下のW1/2六角ナットで締めて固定してください。(シャフト中央を固定しつつナットを回し締めます。)
- ③ 大引材を束調整金具に乗せて、横からφ4.1×32丸木ネジ2本で固定してください。(大引の連結は束調整金具のセンターで行なってください。)

■接着方法

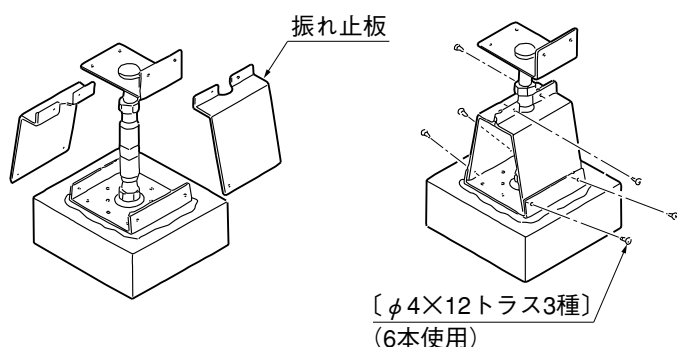


- ① 束調整金具取付け位置に、あらかじめ専用プライマー (※1) をハケにて塗布してください。(厚く塗る必要はありません。)
- ② プライマー塗布後 (乾燥時間20℃で10～30分)、接着剤をその上にカートリッジガンを用いて塗布してください。
- ③ ヘラで接着剤を均し、束調整金具を圧着してください。

<注 意>

- プライマー塗布後30分～4時間以内に接着作業を終えてください。
- 接着後は束調整金具を動かさないようにしてください。
- プライマー、接着剤は規格品にて用意しております。ご使用の際は、別途手配してください。

■振れ止板の取付方法



- ① 束調整金具の調整終了後、φ4×12トラス3種で取付けてください。

<注 意>

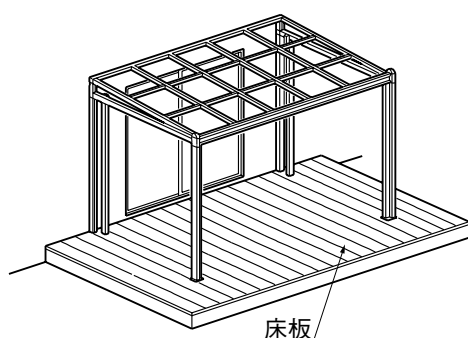
- 取付場所は基礎伏図の指示に従ってください。(P3～10参照)

図中[]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

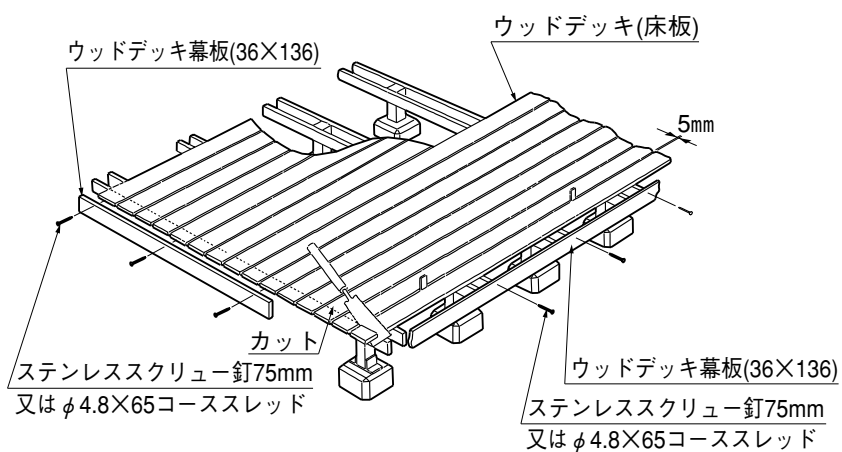
3-4 床板の張り方

- ① 床板の張り込みはセンターから左右に張り込みしてください。(P3～10参照)
- ② 床板をステンレススクリーニングで止めてください。目地ピッチは5mmあけてください。
- ③ 柱埋込み式の場合は、床部を形状に合わせてカットしてください。
- ④ 側面および前面に幕板を釘で止めてください。
前面床板のラインをそろえてから前面幕板を止めてください。

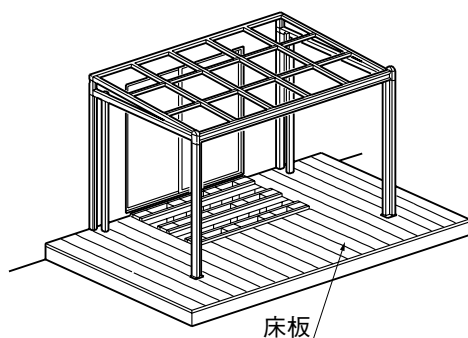
フラットデッキ仕様の場合



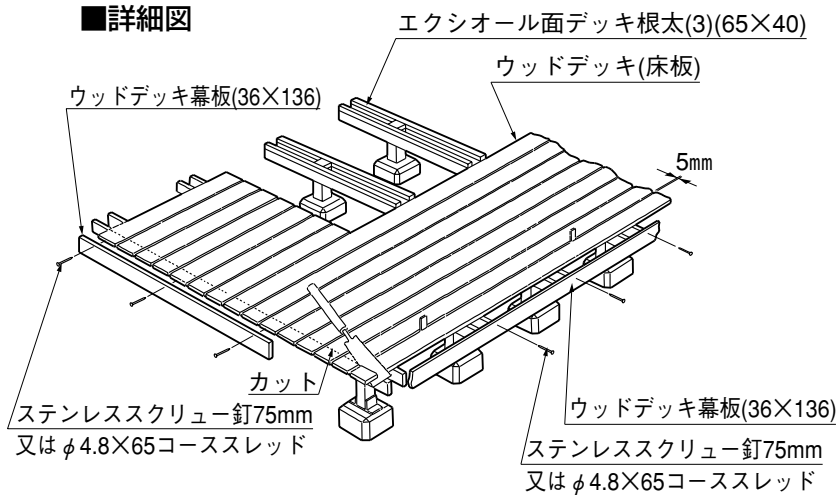
■詳細図



内面デッキ仕様の場合



■詳細図

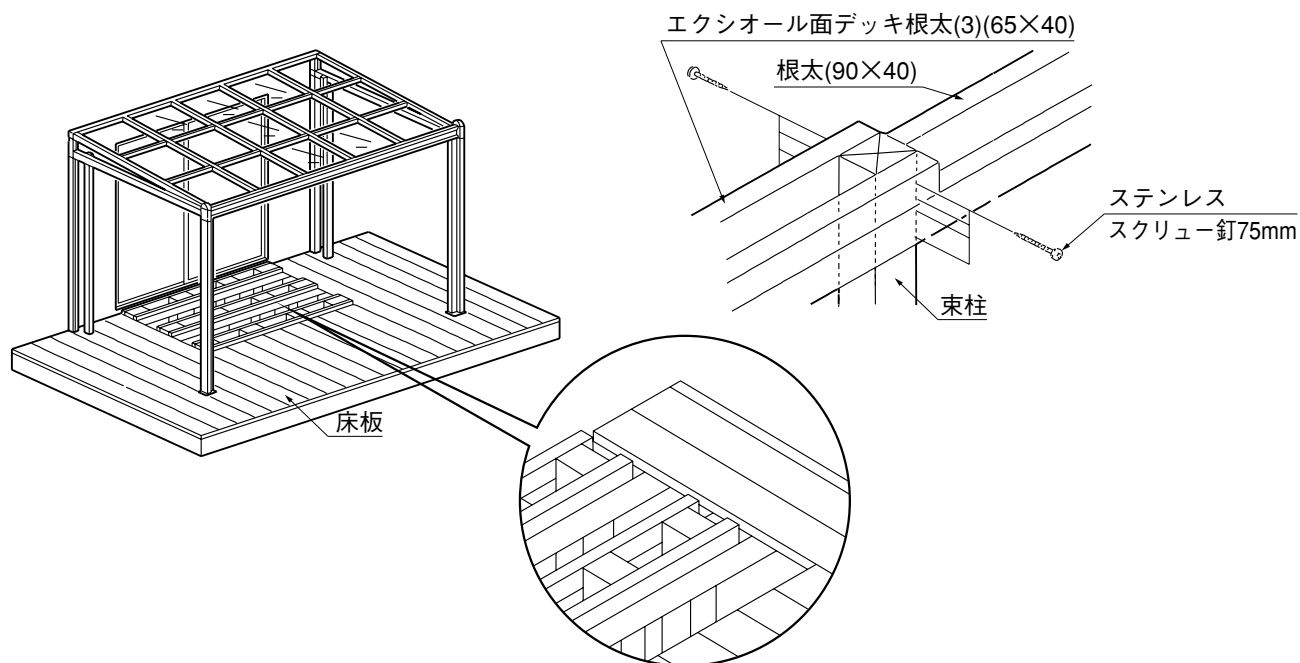


3-5 内面デッキの張り方（内面デッキ仕様の場合のみ）

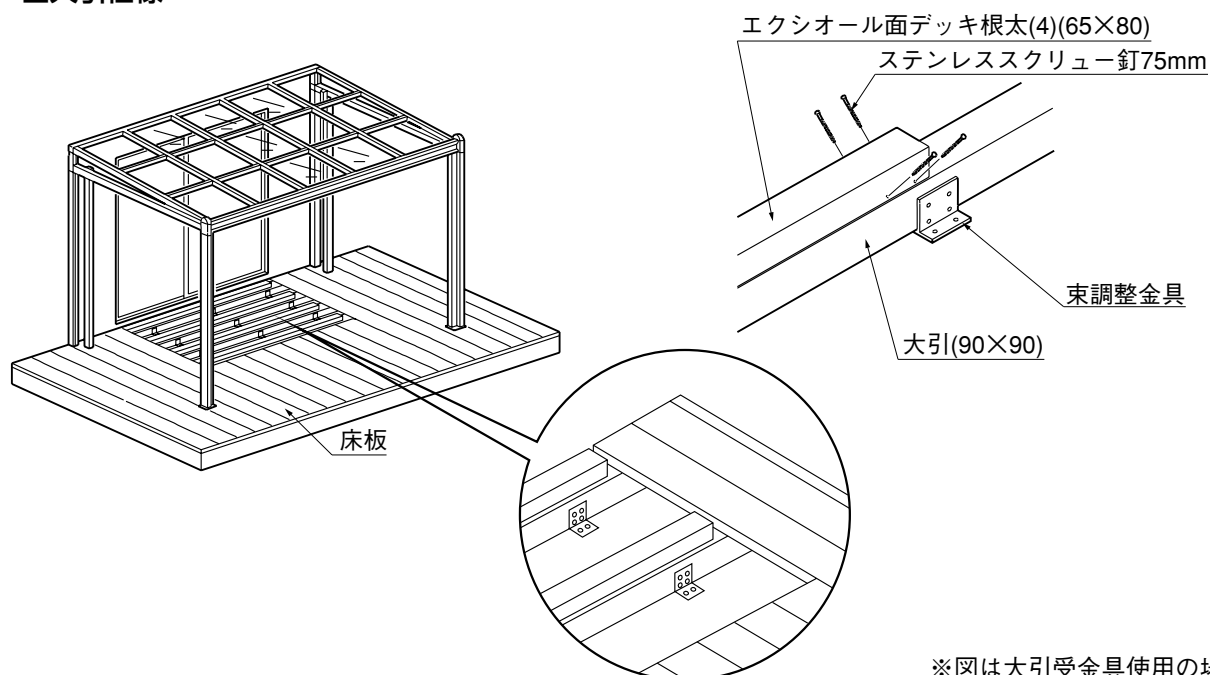
〈E028〉 自然浴家族－総合編－の「上下レールの施工」後に行なってください。

1 束柱仕様

■束柱仕様



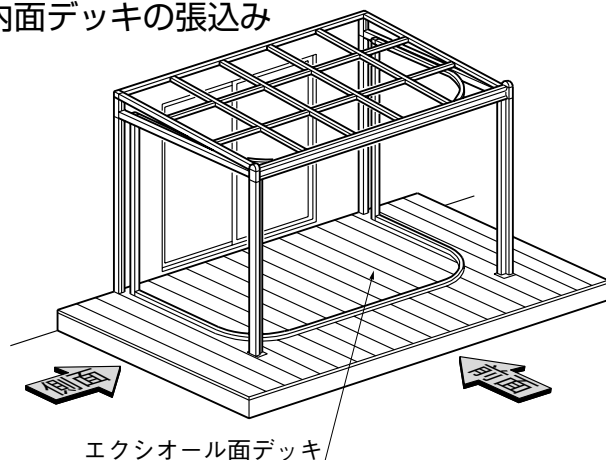
■大引仕様



※図は大引受金具使用の場合です。

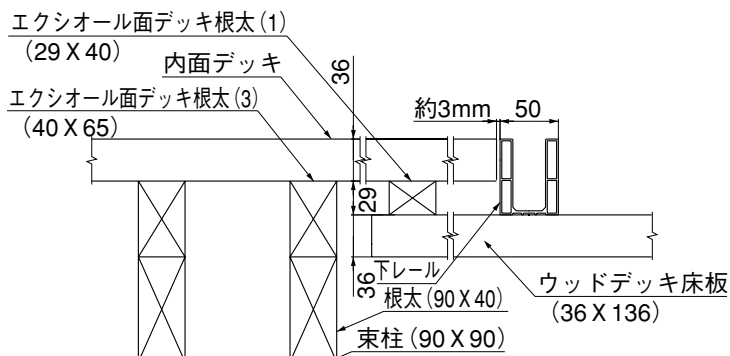
3-5 つづき

② 内面デッキの張込み

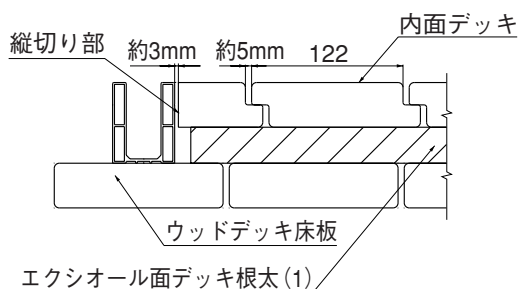


<注意>

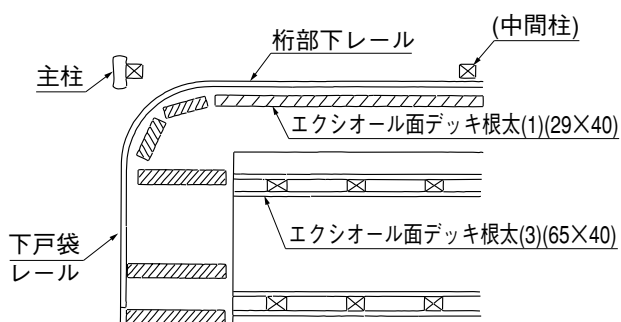
- 下図のように、エクシオール面デッキ根太(1)をステンレススクリーナーもしくはコーススレッドで固定してください。
- 内面デッキと下レールのスキ間を3mm程度あけて張込んでください。
- 内面デッキの張込みはセンターより振り分けて張込んでください。
- 目地ピッチは約5mmあけてください。
- コーナー部は、事前にデッキ材をコーナー型紙にあわせて加工してから張込んでください。
- 戸袋内収納の場合は下図のように戸袋枠に合わせてカットしてください。



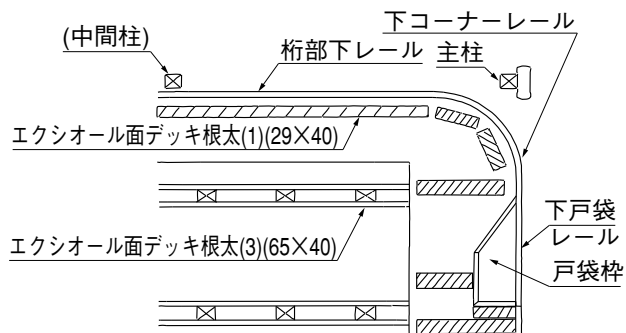
デッキ側面断面図



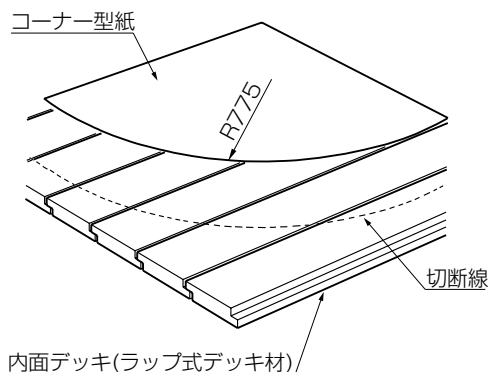
デッキ前面断面図



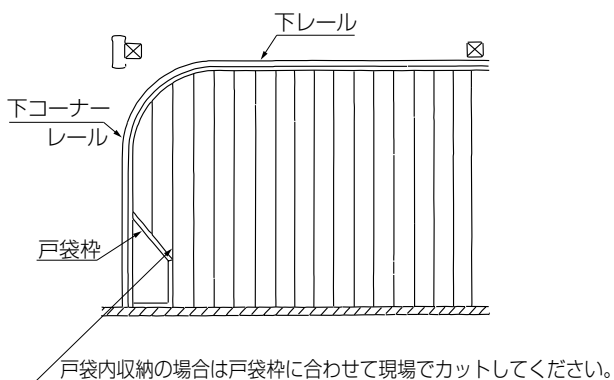
エクシオール面デッキ根太(1)(29 X 40)の取付け
戸袋外収納の場合



エクシオール面デッキ根太(1)(29 X 40)の取付け
戸袋内収納の場合



コーナー部の加工



戸袋部の加工

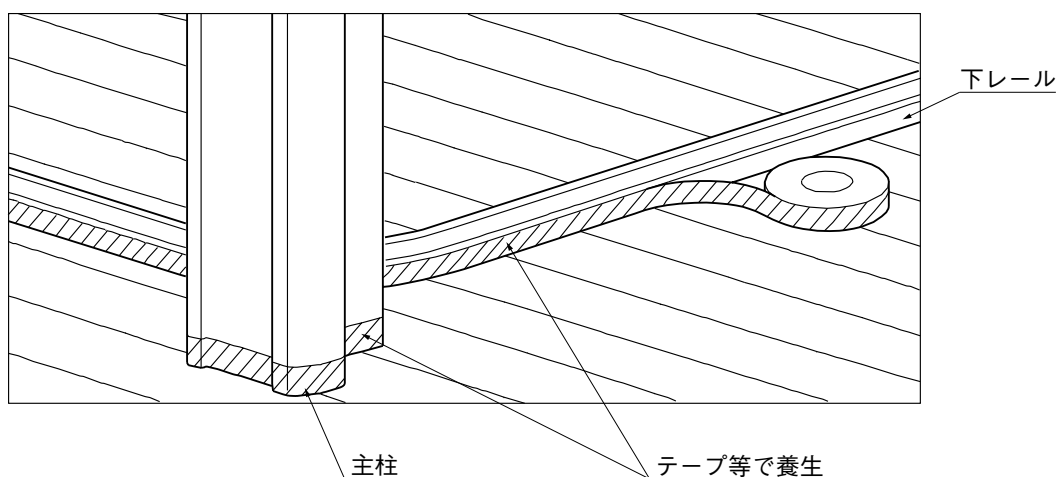
3-6 ウッドデッキの塗装方法

1 下地処理

- ① ゴミ・ほこりなどは除去、清掃してください。

<注意>

- 下レールや柱などにかかる場合は必ず養生してください。特にアクリル板に注意してください。



2 塗装

<注意>

- 塗る前に塗料をよく振って混合してください。
- 刷毛塗りは、2回～3回重ねて塗ってください。
塗り面積1㎡当り150～200ml（牛乳びん約1本分が目安です。）1ℓで5～7㎡
塗装できる目安です。（2回塗り）

塗 料	作 業	重ね塗り乾燥時間
木材保護 着色塗料	● ハケ塗り 2～3回塗り ※ 塗料の顔料が分離・沈降しますので塗装の際はよく混合してください。	24時間以上 ※ 低温、多湿時は3～4日。 重ね塗りの乾燥時間が短いと重ね塗りの効果、性能が発揮できない場合があります。



株式会社 LIXIL

工事店様へ

- 木は自然素材ですので、野外環境下において使用にさしつかえない範囲でのソリ、曲がり、割れ等が発生する場合があります。
- 木材の腐食や変形の原因となりますので、木材表面に故意にキズをつけないように注意してください。
- 木材保護着色塗料を塗装してある木材製品は、ご使用と共に色が落ちてきますので、1年をめぐりに再塗装をしてください。
お手入れの状況（回数、丁寧さ等）で耐用年数に差が出てきます。
- 木材の再塗装には、ニスやペンキ等の塗膜をつくるタイプの塗料は絶対に使用しないでください。ひび割れの原因となります。
- モルタル・鉄粉は木材の変色の原因となりますので、付着した場合は速やかに取除いてください。
- ごみ・汚れ等を長期間放置しますと汚れが落ちにくくなりますので、こまめに清掃してください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

E111

VCB822501C
200102A
201108D_1001